

| | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| パブリック・サービス研究分科会 4月例会 | |
| 「学生サービスとしての大学図書館員のありかた」研究グループ報告書 | |
| 日時 | 2009年4月20日(月)16時半～17時 |
| 場所 | 成城大学図書館4階会議室 |
| 記録 | 西嶋(東京農業大学) |
| 参加者 | 北原(相模女子大学) 矢ヶ崎(成城大学) 内藤(学習院大学) 西嶋 |

1. 進捗状況

昨年度検討してきた内容をもう一度見直すために、前回までのグループ研究の流れをまとめて来て、メンバーでの共通認識を持つために再確認を行った。

また、今後の最終発表までのスケジュールも確認を行い、これからのスケジュールについての再確認も行う。

新メンバーの内藤氏に今までグループで話し合ってきたことを話し、お互いの情報交換を行った。

3月から4月にかけての間に今後の方向性についてメールにて意見交換を行い、ある程度方向性が固まってきた。

ひとつの案としては、今までのグループ研究で、理想の図書館員像というのがある程度見えてきたと思われるので、理想の図書館員になるためには具体的にどのようなスキル(技術)を身につける必要があるのかを検討する。

具体的にどのようなスキルを身につけると理想に近づくのか、項目をリストアップしてみ、それらをパブリックサービス研究分科会のメンバー全員にアンケート調査を行い、自己分析・自己評価してもらい、集計してみる。集計結果を元に自分たちの取り組むべきことを洗い出して、実際に取り組み、どう変化したのかを最後の発表会で発表を行う。

今月までの目標は、「図書館員のスキルアップ」関連の文献を各自読んできて、必要なスキルを表にしてくるというところまでが目標だったが、一部のメンバーしかできなかったもので、次回までにはできるようにしたい。

この日のグループ討議までに、図書館員として必要不可欠なスキルを各自で書き出してきて、当日に比較検討してアンケートの項目を決定して、アンケートのフォーマットをある程度決めたいと考えていたが、新メンバーの内藤氏との意見交換が中心となってしまう、そこまで出来なかった。

また、この方向性でグループ研究を進めてよいか加藤先生に意見を求めるつもりでいたものの、加藤先生が途中で帰られてしまったので、相談ができなかった。

次回以降のグループ討議のことについても時間切れで検討できなかった。

以上